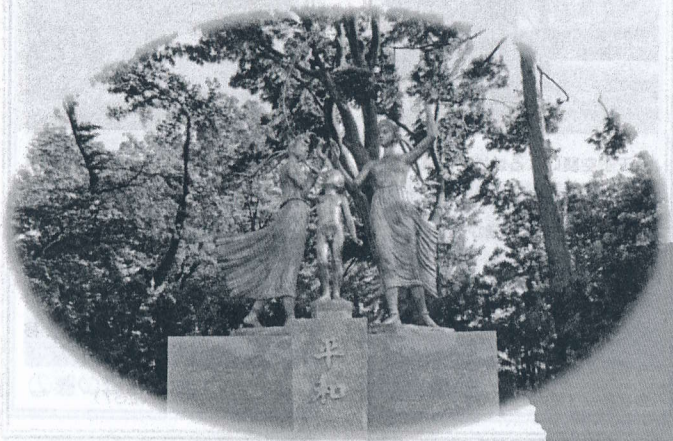
# 八王子市

HACHIOJI CITY

# 戦跡マップ




▲富士森公園内にある「平和の像」

昭和20年8月2日未明に起きた「八王子空襲」。米軍の爆撃機による空襲は約2時間にわたり、死者は約450名、負傷者は約2,000名、当時の市街地の約80パーセントが焼失しました。市内には、戦争の爪痕が今なお残る場所があります。

## 市内に残る主な戦跡

①大和田橋の焼夷弾跡
②クスノキ
③イチョウ並木
④ランドセル地蔵
⑤乾晨寺の山門
⑥陸軍幼年学校
⑦湯の花トンネル
⑧浅川地下壕
⑨JR高尾駅の銃撃痕
⑩十二社神社
⑪戦災死没者之墓
⑫市戦没者慰霊塔

市のホームページでも市内の戦跡を詳しく紹介しています。こちらのQRコードから御覧ください。

## 八王子市非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。しかるに、核軍備拡大競争は依然として続けられ、人類が平和のうちに生存する条件を根本から脅かしている。また、通常兵器の軍備拡大競争も一段と激化し、世界の各地で武力紛争や戦争が絶えまなく続き、限定核戦争の脅威が迫っている。

わが国は、世界唯一の核被爆国として、また、平和憲法の精神からも核兵器の廃絶と軍備縮小の推進に積極的な役割りを果たさなければならない。

したがって、わが八王子市は、非核三原則の完全実施を願い、厳粛に非核平和都市を宣言する。

昭和五十七年六月二十九日

八王子市

## 世界連邦平和都市宣言

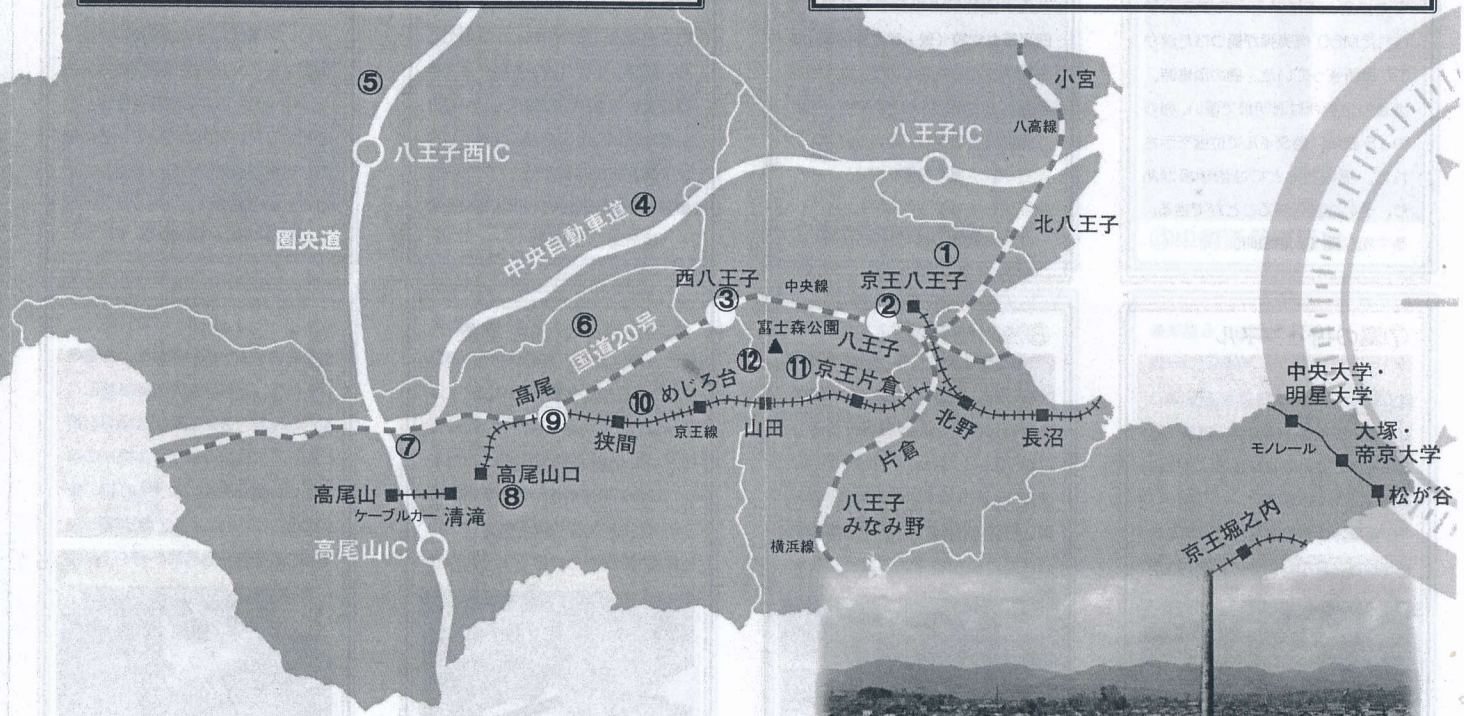
八王子市は戦争放棄を憲法に明記した日本国民の立場から、世界の恒久平和を実現し人類の福祉の増進を目的とした世界連邦建設の趣旨に賛同する。

今日人類の生存を脅かしつつある爆発的人口増加、食糧・資源の枯渇、環境破壊等は、武力による支配を法の秩序におきかえた戦争のない世界平和機構によってのみ解決し得るとの認識に立って、他の宣言諸都市とともに相携えて人類永遠の平和の確立に努力する。

右宣言する。

昭和五十三年十二月二十一日

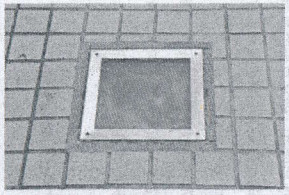
八王子市

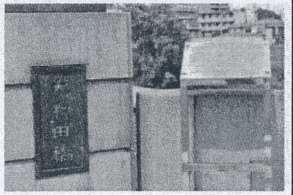


八王子空襲の焼け跡（昭和20年10月斎藤五郎氏撮影）（現在の八日町周辺）


発行日　平成３０年７月（初版）
発　行　八王子市総務部総務課
八王子市元本郷町三丁目２４番１号
ＴＥＬ：０４２－６２０－７２０１
協　力　齊藤　勉（八王子空襲研究家）

## ①大和田橋の焼夷弾跡





橋の歩道上には八王子空襲で投下されたM50 焼夷弾が傷つけた跡が17 箇所残っていた。橋の改修時、歩道の２箇所は透明板で覆い、残りの15箇所は色タイルで位置を示された。橋のたもとには説明板があり、その位置を知ることができる。

●大和田橋（大和田町）

## ②クスノキ

八王子空襲により全焼した都立第四高等女学校（現・都立南多摩中等教育学校）の校庭の木で、空襲の翌年春にこの木だけが芽吹き成長した戦災樹木である。平成22年に同窓会が説明板を設置した。

●都立南多摩中等教育学校
（明神町 4-20-1）

## ③イチョウ並木

国道20号の追分町交差点から千人町交差点までのイチョウ並木のうち、約20本が八王子空襲による家屋の火災で木の皮が類焼し、一部が焼けた戦災樹木である。発泡ウレタンで腐食防止対策が施されている。

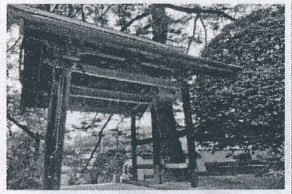
●国道20号追分町～千人町交差点
（追分町、千人町）

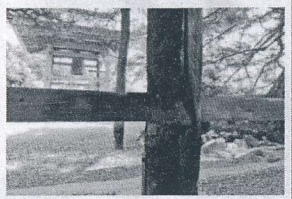
## ④ランドセル地蔵

昭和20年７月８日、品川区原国民学校の４年生だった神尾明治君が、集団学童疎開先の隣保館（泉町）で米軍機 P51 による銃撃を受け、命を落とした。明治君に似ている地蔵に、母親が明治君のランドセルをかけたというもの。

●相即寺（泉町 1132）

## ⑤乾晨寺の山門

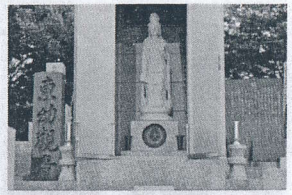




八王子空襲による焼け跡が残る四脚門形式の山門の建造物として唯一のものである。本堂が炎上したことによる類焼と言われている。ここに集団学童疎開中の学童たちは無事だった。空襲の惨禍が山間にも及んだことを知ることができるもの。

●乾晨寺（美山町 1491）

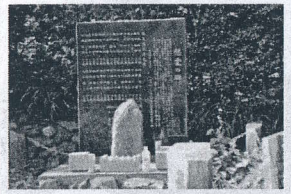
## ⑥陸軍幼年学校

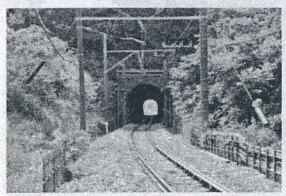


昭和19年、都内戸山台の東京陸軍幼年学校が現在の長房町に移転し、八王子空襲でほぼ全焼した。卒業生が追悼のため東幼観音を建立し、また、長房団地が学校の所在地だったことを残すための建武台の碑が移築されたもの。

●東照寺（長房町 1267）

## ⑦湯の花トンネル

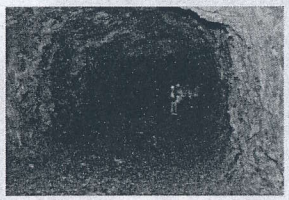




昭和20年８月５日、中央本線新宿発長野行き419 列車がトンネルの東側で米軍機 P51 の銃撃を受け、52名が死亡、133名が重軽傷を負った。新井踏切の東側には「供養の碑」があり、毎年８月５日に慰霊の集いが行われている。

●湯の花トンネル（裏高尾町）

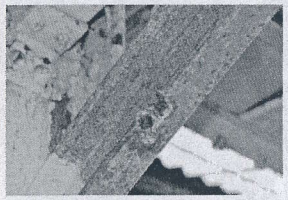
## ⑧浅川地下壕

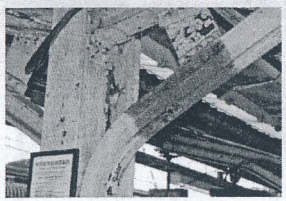


高尾駅南西側の山稜に陸軍浅川倉庫として掘られ、中島飛行機の地下工場となった巨大な地下壕。総延長は約10kmで、金比羅山下などに３箇所ある。壕内の見学会は「浅川地下壕の保存をすすめる会」のHPを参照。

●浅川地下壕（初沢町、高尾町）

## ⑨JR 高尾駅の銃撃痕

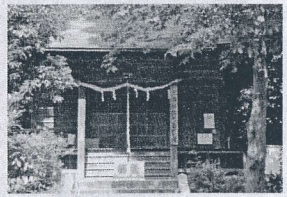


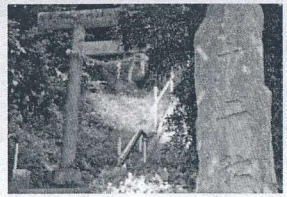


ＪＲ高尾駅１・２番線ホームの屋根を支える鉄柱（柱番号 31 と 33）には、米軍機による銃撃の跡が残り、「銃撃痕」の看板が設置されている。鉄柱は線路を再利用したものであるが、貫通したその威力に銃撃のすさまじさを知ることができる。

●JR 高尾駅（高尾町）

## ⑩十二社神社

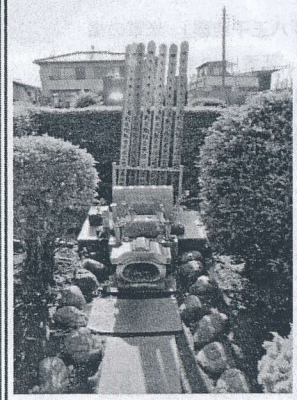




八王子空襲により東浅川町の十二社神社は全焼、東京陸軍幼年学校で焼失を免れた雄健神社の社殿を戦後に奉遷鎮座させて奥殿とした。幼年学校の建造物として唯一のものである。この奥殿を直接拝むことができるのは祭礼のときに限られる。

●十二社神社（東浅川町 656）

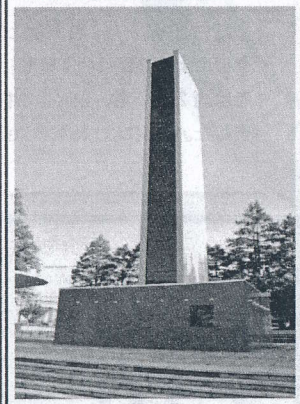
## ⑪戦災死没者之墓



八王子空襲による犠牲者のうち、身元不明者や引取手のなかった50体の遺体が埋葬されている。昭和23年に改葬された。
毎年八王子市社会福祉協議会とシニアクラブ連合会が法要を行っている。

●緑町霊園（緑町 222）

## ⑫市戦没者慰霊塔



戦後、周辺町村の合併で形成された現八王子市域の全戦死者・戦災死没者を慰霊するため、昭和40年に建立した。高さ約20m、3,209名を合葬している。
公園には日清・日露戦争関連の忠魂碑もある。

●富士森公園（台町 2-2）